

2 目標達成計画

事業所名 : グループホーム ほほえみの家

作成日 : 令和7年12月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	①ホームの設備が軽介助者を想定しており、重度化した利用者が生活を続けるために必要な設備が整っていない。その為、ケアの工夫が必要となるが、職員の経験年数によって介護技術や知識に差が見られ、対応が難しいという声が聞かれる。	現状の設備でも、重度化した利用者に対応が出来るようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上委員会が中心となり、職員会議の場を活用し、困難なケースを把握する。重度化利用者のケアについて、各職員のケアの仕方やアイデアなど、意見や工夫を出し合う。 法人のリハビリスタッフに、身体機能の評価や適切な介助方法の助言を得る。 	24 か月
		②近年、看取り介護を実施していないため、対象者が現れた時に、適切な介護が提供できるか心配がある。	看取り介護に必要な知識と技術の習得のほか、死生観教育を継続的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 看取り介護に関する研修会を、年1回開催する。 	